

「自己紹介をし合って船佐小学校5年生と仲よくなるよう」

Unit 1 “Hello everyone 自己紹介“(We can! 1)

T1 井上敦子

ALT Husayn Whyte

コミュニケーション能力

平成30年7月6日(金) 第5校時

第5学年

男子12名

女子15名

計27名

研究主題「英語を活用し、豊かに伝え合う児童の育成」～主体的なコミュニケーションを図る「学び合い」の授業を通して～

1 単元観

本単元では“What ~do you like?”, “What do you want?”などの表現を用いて、相手の好みや欲しいものについて伝えたり尋ねたりする表現や身の回りのものを指す単語を扱う。日頃一緒に活動しているクラスの友だちではなく、ほとんど初対面に近い相手に対して、どんな挨拶や聞き方を入れて会話するのか、どの質問が適切かを考えさせることを通して、思考力・判断力・表現力を養うのにも適した単元である。

【We can!1】

Unit 1 “Hello everyone 自己紹介“

2 児童観

本学年の児童は、これまでの外国語活動を通じて、身の回りの簡単な単語を使ってゲーム等を行い、楽しんで活動をおこなってきた。第1回外国語活動実施状況調査の結果、「英語の勉強は将来役に立つ」、「授業に進んで参加している」の肯定的回答がどちらも約9割なのに対し、「授業以外で英語を使ってみたい」、「英語を使う場面を考えながら活動している」においてどちらも否定的回答が約3割であった。

この結果から、外国語活動(英語)の授業に対する意欲は高いものの、外国語に関わり活用する経験や達成感が不足しているのではないかと考える。また、「やり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えている」の回答も約4割の児童が否定的に回答しており、ターゲットワードを練習するだけに留まらず、自分の本当に好きなものや好きなものを答えられる場面の設定が必要であるといえる。単語やフレーズの意味を理解するのに時間がかかる児童が多く、繰り返し口に出して言うことにより安心感や自信を持つことができている。

3 指導観

指導にあたっては、単元の初めに、船佐小学校の5年生とクイズを出し合ったことを振り返り、さらにお互いのことを知るために自己紹介するというゴールを意識させ、“What ~ do you like?”, “What do you want?”などを使って相手に尋ねる必然性を高め、定着を図りたい。さらに、自己紹介での会話を意識しながら毎時間取り組むことで、単元末には児童が学習した内容から自主的に内容を選択して会話できるように計画的に学習を進めたい。

また、会話する相手の組み合わせを替えながら、互いに繰り返して会話する機会を設けることで、表現に慣れ親しませ、定着に向かわせる。その際、単元導入前に児童にアンケートを行い、調査に基づいた単語をカードにして準備しておくようにすることで、実生活に基づいた会話にさせ、児童が本当に好きなものや好きなものの言い方が分かるようにする。

加えて、会話のやりとりを意識させ、反応として、これまで“Me, too.”や“Really?”, “How about you?”の指導を少しずつ行ってきており、児童が「会話が長く続いた」「思いが伝わった」と実感できるよう継続して取り組みたい。

4 単元の目標

- 他者に配慮しながら自分の名前や好きなもの、ほしいものなどを含めて、簡単な自己紹介をしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 自分のことや身近なことについて、短い会話や説明を聞いて概要を捉えたり、好きなものや欲しいものについて、尋ねたり答えたりすることに慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】
- 英語とローマ字では、表記の仕方が違うことに気づく。【言語や文化に関する気づき】

5 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
相手に伝わるよう工夫しながら、相手が好きなものや欲しいものを尋ねたり、自分が好きなものや欲しいものを答えたりしようとしている。	色や身の回りのものの言い方や、相手が好きなものや欲しいものを尋ねたり、自分が好きなものや欲しいものを答えたりしようとしている。	英語とローマ字では、表記の仕方が違うことに気づいている。

6 使用表現・語彙

コミュニケーションの目的・場面・状況	好きなものや欲しいものなどを尋ねる言い方を学び、船佐小学校5年生と自己紹介し合う。
目指す発話例	<p>Hello! My name is (Atsuko). Nice to meet you.</p> <p><u>What's your name?</u> My name is (Husayn).</p> <p>Hi, (Husayn), <u>What (food) do you like?</u> I like curry and rice.</p> <p>Oh, really? Me, too. <u>What (TV programs) do you like?</u></p> <p>I like "ItteQ.". How about you? I like "Monitoring."</p> <p>I see. <u>What do you want?</u> I want a new backpack.</p> <p>Thank you.</p>

7 単元計画

(1) 単元構想図

Hello everyone 自己紹介 ～自己紹介をし合って船佐小学校5年生と仲よくなろう

課題発見(1)

5年生児童の
船佐小学校5年生への思い

- “How many?” の単元でクイズを出し合ってた楽しかったな。
- もっと仲よくなりたいな。

自己紹介に対する
興味・関心

- 船佐小学校の5年生に負けないくらい英語で堂々と話したい。
- 反応表現もしっかり使いたい。



船佐小学校の5年生のことも知りたいな。

船佐小学校の5年生に英語で自己紹介したいな。

船佐小学校の5年生と自己紹介で交流をしたい。



課題の設定(1)

船佐小学校5年生に自己紹介ビデオレターの返事を送るため、英語で好きなことやほしいものについて会話できるようにしよう。

情報の収集(1)

英語で相手の好きなことやほしいものを尋ねる質問を考える。
【本時】

質問や答えを決めて、伝えるための練習をする。

ビデオレターを撮影し、船佐小学校へ送る。

整理・分析(1)

実行(1)

特活(1)

- 七夕交流をする。
- 七夕の願いを作成する。
- 七夕の短冊を交換する。

どんなことを聞くと仲よくなれるかな？



まとめ・創造・表現(1)

ビデオレター交流

振り返り

もっと英語の力をパワーアップしたい。

外国の人とも会話したい。

英語で手紙が書いてみたい。

(2) 単元計画 (本時2校時/全3時間)

次	時	目標 (◆) と主な活動	評価観点			◇評価規準 (評価方法) ☆資質・能力の評価 (評価方法) ○表現例
			コ	慣	気	
第一	1	<p>課題発見 (1)</p> <p>◆ 前単元をふり返り, 本単元のゴールイメージをもつ。</p> <p>• Alphabet chant (animal)</p> <p>船佐小5年生と自己紹介し合おう</p> <p>○ "How many?"の単元をふり返り, 船佐小学校5年生の反応を伝え, もっと知り合いたいという気持ちをもつ。</p> <p>◆ 好きな色の尋ね方を復習し, 好きな動物や食べ物を尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>• Animal jingle 【Small Talk】</p> <p>課題の設定 (1)</p> <p>相手の好きなものの尋ね方を知ろう。</p> <p>【Chant1】 What color do you like? 【Review】 foods, animals, TVprograms 【Let's Listen1】登場人物がどのようなものが好きかを聞いて線で結ぼう。 【Activity】 interview game ☆コミュニケーション能力</p>	○			<p>◇相手に伝わるよう工夫しながら, 相手が好きなものや欲しいものを尋ねたり, 自分が好きなものや欲しいものを答えたりしようとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (行動観察・振り返りカード)</p> <p>○</p> <p>◇料理や動物, テレビ番組の英語とローマ字では, 表記の仕方が違うことに気づいている。【言語や文化に関する気付き】(行動観察・振り返りカード)</p> <p>☆自分の好きなものを相手に伝えたり友達の好きなものを受容的に聞いたりしながら, 共通点や相違点が見える。(行動観察・振り返りカード)</p> <p>○表現例 "What (food) do you like?" "I like (spaghetti)." "What(animal) do you Like?" "I like (dog)." "What(TV program) do you like?" "I like (news)."</p>

	2 本時	<p>情報の収集(1)</p> <p>◆ “What do you want?”, “I want (a ball).”の示す意味に気付く。</p> <p>【jingle】 Alphabet jingle</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手のほしいものの尋ね方を知ろう。</div> <p>【前時の復習 small talk①】 “What TV program do you like?” (友達同士のやり取り)</p> <p>【Target words and Activity1】 ポインティングゲーム</p> <p>【small talk②】セタの願いごと(欲しい物T1とALT) “What do you want?” (※【Let's listen3】登場人物がどのようなものがほしいかを聞いて、吹き出しに書こう。) ※時間に余裕があれば実施する。</p> <p>【Activity】インタビューゲーム</p>		○	<p>◇身の回りのものの言い方や、相手が欲しいものを尋ねたり、自分が欲しいものを答えたりしようとしている。 【外国語への慣れ親しみ】 (行動観察・ふり返りカード)</p> <p>☆自分のほしいものを相手に伝えたり友達のほしいものを受容的に聞いたりしながら、共通点や相違点が見える。(行動観察・ふり返りカード)</p> <p>○表現例 “What do you want?” “I want (nintendo switch).”</p>
	3	<p>整理・分析(1) 実行(1)</p> <p>◆ 船佐小学校の友達のビデオレターを受け、返事をしたり新たにインタビューしたいことを考えて質問したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ビデオレターの返事を考え、船佐小の5年生のことをもっと知ろう。</div>		○	<p>◇英語とローマ字では、表記の仕方が違うことに気づいている。【言語や文化に関する気づき】 (行動観察・ふり返りカード)</p> <p>☆自分の好きなものやほしいものを相手に伝えたり友達の好きなものやほしいものを受容的に聞いたりしながら、共通点や相違点が見える。(行動観察・ふり返りカード)</p>

9 本時のねらいとポイント

(1) 本時の目標

新出表現(ほしいもの)の言い方や尋ね方、答え方を知り、会話に使用することができる。

【外国語への慣れ親しみ】

(2) 本時の評価規準

身の回りのものの言い方や、相手が欲しいものを尋ねたり、自分が欲しいものを答えたりしようとしている。【外国語への慣れ親しみ】

(3) 主な使用表現・語彙

S1: Hello.
 S2: Hello.
 S1: What do you want?
 S2: I want (Nintendo labo).
 S1: Wow, that's great.
 S2: How about you?
 S1: I want "(DVD)".
 S2: I see.

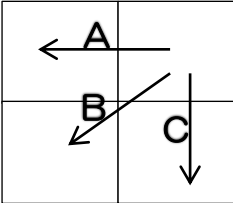
(4) 準備物

教室用電子黒板・タブレット【デジタル教材（ We can!1）】
 教師用絵カード，表現カード，ふり返しカード

10 本時の学習

(1) 学習の展開（本時 2/3）

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点等 ◆評価
	T 1	T 2 (ALT)	
1 挨拶をする。 ・学習リーダーが中心 となってやりとりを 進める。 ・曜日，日付，天気 を言う。 2 animal jingle (デジタル教材道具箱)	L: Stand up, please. Let's start English! How are you? (I'm fine, and you?) What day is it today? What's the date today? How is the weather now?		・挨拶のよさや声の 大きさ，学習リー ダーのはたらきを 認める。 ・声を出すことに 慣れさせる。
3 前時の復習 Small talk① ペアで	S1: What TV program do you like? S2: I like (Itte Q). S1: Wow, me too. S2: How about you? S1: I like (Nandakore Mystery). S2: I see.		・先週の宿題に対 しての取組を評価 し，自信を持たせ るようにする。
4 Target words and Activity1	ポインティング ゲームを行い，語 彙の定着を図る。	語彙の発音を確 認する。	・児童のアンケート 結果からカードを 作ることで，自 分が本当にほし いものについて 会話できるように する。

<p>5 Small talk②</p>	<p>T1 : Hi, Whyte 先生, Tomorrow is star festival. (説明) What do you want? ALT: I want (). T1 : Oh, that's good! ALT: What do you want? T1 : I want (). ALT: I see.</p> <p>Do you understand?と聞き、繰り返しながら、"What do you want?"の意味に気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • small talk の中で、七夕の説明をさりりとしておき、場面を確認させる。 • 児童が"What do you want?"の意味に気付き始めたら、担任や言えそうな児童に同様に尋ねることで、意味理解を深めさせる。
<p>6 本時のゴールを確認し、単元の流れを想起し、活動の見通しをもつ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ほしいもののたずね方を知ろう。</p> </div>	
<p>7 Activity2 ほしいものについて尋ねる表現の練習をする。</p> <p>① 全員で ② ペア A→B→C</p> 	<p>インタビューゲームを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めざす子供の姿】</p> <p>S1: What do you want? S2: I want (). S1: Oh, really? S2: What do you want? S1: I want (). S2: That's good!</p> </div> <p>• 対話を続けるための基本的な表現ができているペアを取り上げて紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童の理解をより深めるため、やり取りを指導者でやって見せ、繰り返させてから行う。 • 児童がペアで練習する前にやり取りのポイントを確認する。 • 2. 5往復の会話をめざすよう児童に伝える。 <p>◆身の回りのものの言い方や、相手が欲しいものを尋ねたり、自分が欲しいものを答えたりしようとしている。 【外国語への慣れ親しみ】 (行動観察・振り返りカード)</p> <p>☆自分のほしいものを相手に伝えたり友達のほしいものを受容的に聞いたりしながら、共通点や相違点分かる。 (行動観察・振り返りカード)</p>

<p>8 Evaluation</p> <p>本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに会話の楽しさや気持ち、友達のよいところ等を書く。 	<p>【めざす子供の姿】</p> <p>ほしいものを聞くときは、"What do you want?"を使うとよい。</p> <p>言い方が分かり、友達にも聞けたので、船佐小学校の5年生にインタビューする自信がついた。</p>	
<p>9 終わりの挨拶をする。</p>	<p>・本時の児童の対話のよさを見つけて肯定的に評価する。</p> <p>T1 : Thank you. See you. ALT: Thank you. See you next time!</p>	

(2) 板書計画

<p>7/6</p>	<p>Today's goal</p>	<p>Want things Cards</p>	<p>Nice reaction</p>
<p>Today's Menu</p>			